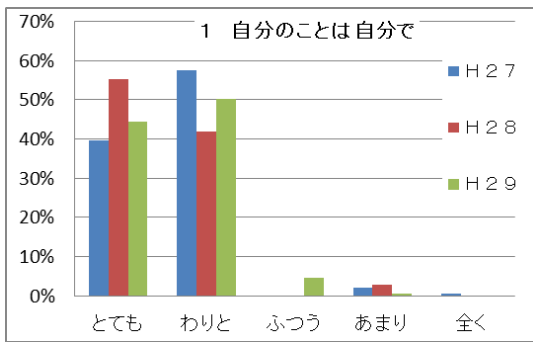
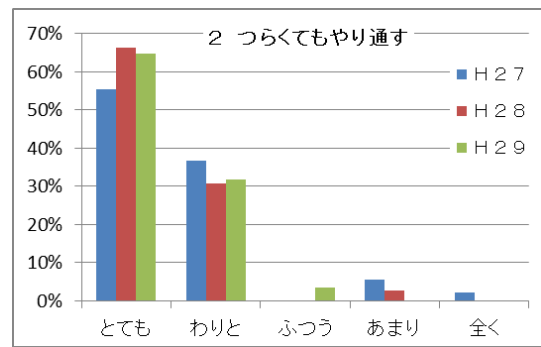


## 本事業で見られる子どもたちの姿（過去3年間の参加者アンケートより）

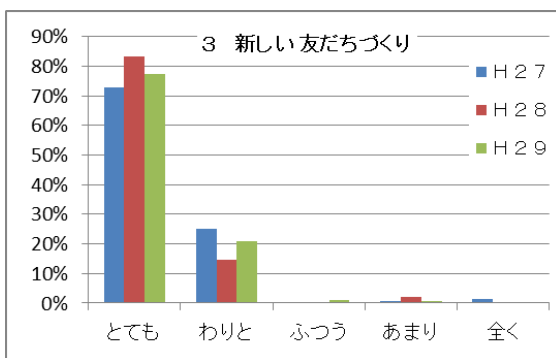
ふるさとの豊かな自然の中で、様々な体験をしたり、自ら課題に向き合い解決したりすることで、本事業に参加する子どもたちに様々な変化が見られます。



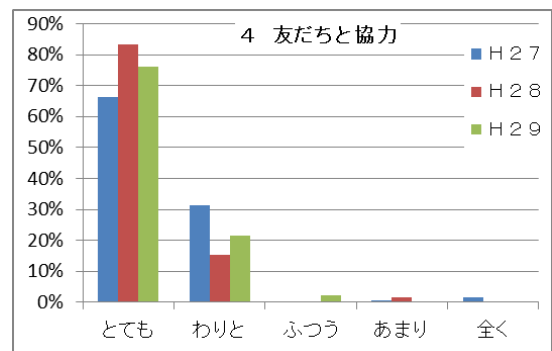
参加者のほとんどが概ね「自分のことは自分でできる」ようになったと回答しています。本事業の趣旨の一つである「自主性を育む」プログラムを今後も積極的に取り入れていきます。



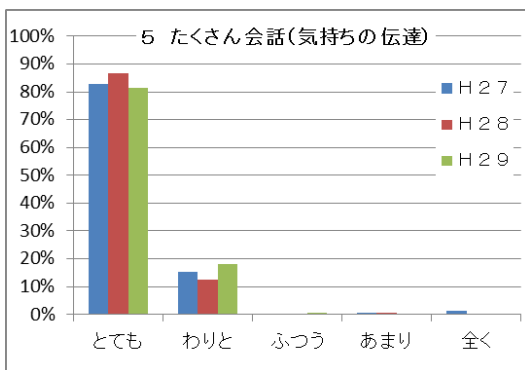
芦原会場での「いかだ作り」、奥越、鯖江会場の「登山」三方会場の「ゴムボート」など、多少ハードでも協力してやり遂げる活動を取り入れたため、参加者の多くが充実感を持つことができました。



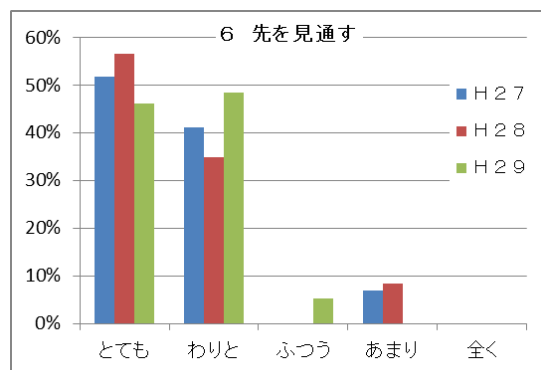
学校で人間関係構築の苦手な子が、様々な活動を通して、人との関わり方に自信を取り戻した例が見られました。また、各会場最終日の別れを惜しむ姿も印象的です。



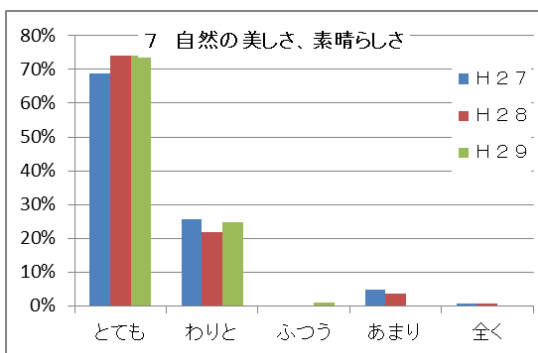
各会場のプログラムのほとんどが、「協力しないと成し遂げられない」活動です。参加者のほとんどが活動を通して協力することの大切さを体感することができています。



例年子どもたち同士で課題解決に取り組む活動を意識して設定しています。気持ちを伝達しようとする意識は年々高まっています。



それぞれのプログラムで見通しを持って活動できるよう声かけをしたり、「5分前行動」を意識づけたりしたことで、先を見通して行動する意識を高めることができました。



各会場周辺の豊かな自然をフィールドとした活動の中で、参加者の多くが自然の美しさや素晴らしさを体感することができました。

### <今年度の参加者の声>

- いつも家族がやってくれていたことも（食事、洗濯）自分でやらなければいけない環境でした。（5年女子）
- 登山は辛くて大変だったけど、友達やカウンセラーさんが助けてくれたからがんばってできました。（6年女子）
- これからは自分のことはもちろん、他の人のことも考えていい行動をしたい。（中1男子）
- どんなにつらいこと、苦しいことも班の仲間（みんな）がいたからできたのだと思います。（5年女子）
- 来年からは、ボランティアとして参加したい。（中3女子）